

令和5年度 第1回海津市図書館協議会会議録

日時：令和5年6月29日（木）

15：00～16：00

場所：海津市役所西館2階

2－3会議室

出席者：海津市図書館協議会委員8名

三宅淑美、藤田佐喜子、安田美智子、和田聖子、後藤悦子、塚本明日香、
山田洋司、山崎見歩

事務局2名 後藤事務局長（教育長代理）、加賀係長、

欠席者：事務局2名 教育長（欠席）、徳永館長（欠席）

1. 事務局長あいさつ（教育長代理）、委嘱状の交付、会長・副会長の選出

- ・事務局長があいさつし、委嘱状の交付は机の上に置いての交付とした。
- ・会長及び副会長の選出について、事務局案として会長に三宅淑美氏、副会長に藤田佐喜子氏を提案し、委員全員の承認を受け決定した。そして、三宅会長にごあいさついただき、以後会長により議事を進めてもらった。

2. 議題

(1)海津市図書館の現状について

- ・事務局が資料に基づき、図書館の現状について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・昨年度における図書館としての一番大きな事業としては、館内にWi-Fi環境を導入したことである。
- ・令和4年度図書館の入館者数など利用状況について、令和3年度より減少しているが、平田図書館の閉館によるものであり、海津図書館としては増加している。これについては、コロナウイルスの感染が収まってきたことと平田図書館利用者が海津図書館へ来館しているためであると分析している。
- ・デジタル図書館（電子図書館）を運用して1年以上経過したが、利用者はなかなか増えないので、今後も地道な周知活動を行っていく。
- ・デジタル図書館にかかった費用はいくらか。
→初期導入費と毎月のクラウドサービス利用料として約100万円、電子書籍コンテンツ使用料で約900万円の合計約1000万円で導入した。
- ・予約図書配本サービスの利用状況はどうか。
→利用はない。

(2)読書ガーデンの整備について

- ・事務局が資料に基づき、読書ガーデンの整備について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・令和4年3月22日に「読書のまち」を宣言し、宣言している「読書に親しめる環境づくり」の1つとして、読書ガーデンを整備していく。内容はスタジアムベンチや四阿（あずまや）の設置、Wi-Fi環境の整備などを行う。
- ・草刈りや樹木の剪定など維持管理をどうしていくかが今後の検討事項である。

- ・読書ガーデンを整備することに至った経緯を教えてください。
→屋外でも本を読むことができるように、テラス席を設けて気軽に読書を楽しめる環境を整備していこうということで整備することになった。維持管理については、図書館の附帯設備ということで、利用者の不便にならないよう図書館で管理していく。
- ・読書ガーデンで読む本は、館内で貸出された本を読むことになるのか。
→そのとおり。飲食は飲み物をこぼして本を汚すことも考えられるが、屋外であることから基本は可能とするが、利用状況を見ながら今後検討していく。出入口については、東面に自動扉を設置することを考えていたが、建物の構造上難しいため、玄関からの出入りとすることにした。
- ・大江川の堤防には柵はしてあるのか。
→今は何もないが、ご心配のとおり読書ガーデン整備後は小さい子どもも遊ぶことも考えられるため、今後検討していく。
- ・休館日でも入ることは可能か。
→年中開放されているため、いつでも利用は可能である。

(3)海津市こども未来館（仮称）における「こども図書館」の整備について

- ・事務局が資料などに基づき、こども図書館の整備について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・海津市こども未来館は、平田町にある平田総合福祉会館「やすらぎ会館」を改修して建設される。開館は令和6年10月予定。
- ・令和5年3月に基本計画書が策定され、こども図書館は1階部分に整備される計画となっている。
- ・詳細は今後検討していくことになるが、現時点ではふるさと会館に保管してある児童書約3万冊のうち約1万8千冊と子育てに関する図書をいくつか移動させていき、残り約1万2千冊は倉庫に保管しておくことと、図書館法に基づく図書館として運用していくことが決定しており、図書の貸出・返却を行うことから、海津図書館で利用している図書館システムを採用し、システムの機能も同様としていく予定である。
- ・開館後の企画やイベントは、盛り上げていくためにもNPO団体としても協力させていただくので声をかけてほしい。

- 児童書すべてを置くことができれば一番いいが、限られたスペースであるので、倉庫に保管してあるものと入替を行いながら、NPO団体の協力を得てどのような見せ方がいいのか検討していきたい。
- 2階部分の図面にいろいろな遊具が置いてあるスペースがあるが、音は問題ないのか。
→遊具メーカーや設計士などが現場を確認したうえでの計画となるため、問題はないはずである。
 - 倉庫に保管される児童書をどのくらいのペースで入れ替えていくのか。
→お蔵入りにならないよう、利用者の目に触れるように入替は行っていく。また、館内のいろいろな場所にも本棚を置くので、そこにも置いておくようにはしていきたい。いずれにしても無駄にはしたくないので、今後検討していく。
 - 貸出カウンターの配置が図書館側ではなく外側を向いているのは、管理上よくないと思われる。また、動線上に本棚などを置くことは非常時の避難誘導が難しくなると思われる。
→計画段階の図面であり、貴重な意見をもとに変更はできると思われるので、安全面や避難経路等検討していく。

(4)その他

- 読書ガーデンにおいて、図書館としてのイベントを何か検討しているか。
→今のところ考えていない。団体による読み聞かせ会など検討していきたい。
- 他市町村の図書館では、コンビニやカフェなど飲食スペースが設置されている所があるが、海津市は検討していないのか。
→以前はキッチンカーによる販売を行ったこともあったが、現在は何も考えてはいない。
- 海津町内の小学校閉校後の残った図書はどうするのか。
→子どもたちに配布などで対応するが、それでも余る図書は学校図書館司書たちが検討し対応される予定である。

(閉会 16:00)